

鹿野町総合支所整備（耐震化）の推進について

今年度、鹿野町総合支所の耐震化に向けて次の考えを基に調査・検討を行います。

1 現況

	建築年	築後 (H27)	構造	耐震対策	各階面積		延床面積	敷地面積	
鹿野町総合支所	S59	31年	RC造4階	新耐震基準	1階	1,124.85㎡	2,267㎡	5,030㎡	借地:3,811千円/年
					2階	518.92㎡			
					3階	560.75㎡			
					4階	32.49㎡			
					PH	30.28㎡			

- ・庁舎、延床面積2,267㎡の内、未使用面積が約670㎡（2F：110㎡、3F：560㎡）
- ・借地（5,030㎡）

2 近隣施設の状況

	施設名	建築年	築後	構造	各階面積		延床面積	敷地面積	
鹿野	鹿野地区保健センター	H2	25年	RC造1階	1階	802.18㎡	802㎡	6,076㎡	市有地

鹿野地区保健センター（新耐震基準）：土砂災害警戒区域内

3 今後の進め方

現庁舎の耐震補強（構造体の補強等）、鹿野地区保健センターの活用について、整備費及び維持管理経費などの比較検討を行います。

- ・防災機能の向上
- ・ユニバーサルデザイン等の環境づくり
- ・施設の効率的利用
- ・借地の解消

<予定>

平成27年5月～12月 総合支所耐震化基礎調査を実施
平成28年1月～ 調査結果を基に整備方針の検討



